ホームページ公開用

令和元年度第２回福岡県直方・鞍手区域地域医療構想調整会議　議事概要

１　会議の開催日時及び場所

日時：令和元年１１月１１日（火）１４時００分～１５時０５分

場所：福岡県直方総合庁舎　５０２会議室

２　出席委員

　別紙委員名簿のとおり（出席者：出席委員１６名、欠席１名）

３　議事概要

　（１）福岡県外来医療計画について

　　以下の配布資料に基づき事務局及び地域医療構想アドバイザーから説明を行った。委員から、実感として絶対的に足りていないのは、産婦人科、小児科、需要と供給のバランスが取れていない。また、在宅診療については、施設基準を取ってはいるが、実際に動いていないところが多く、むしろ、在宅診療の施設基準を持っていなくても、在宅診療されているところもある。そういったところが、この資料には反映されていない為、在宅診療が充足しているか不足しているかの十分な判断ができないように思うとの意見が出た。

　　委員から、病院の外来機能と診療所の外来機能の連携が、手つかずという印象、そこがもっと補完しあえればとの意見が出た。

　　委員から、有床診療所の数が減ってきており、有床診療所の役割がはっきりしない。がんや終末期を含めて、入院の必要がある方に、もう少し利用していただくなど、有効活用が今後必要との意見が出た。

　　委員から、外来機能というよりも、入院治療や手術が必要な脳卒中関連疾患や心筋梗塞等の患者を自院で見られないというのが困っているとの意見が出た。

　　委員から、せっかく地域にいい病院があるのだから、病院同士が連携して３次救急に近い救急医療をやっていただければ、直鞍地域で救急医療が完結できるのではないかと考えているが、経営母体の違いで難しいようだとの意見が出た。また、議長より、直方鞍手医療圏は３次救急ができないという大きな問題があり、圏内のレベルを上げるには、病院同士の連携が必要だと声を上げてきたが、経営母体の違いからうまく連携をとることができず、各病院ごとで病床をどうするかということに終始してきた。県にもこの意見を聞いていただいて、今後の政策としてご考慮いただきたいとの意見が出た。

資料１　　福岡県外来医療計画について

資料２　　医療計画策定スケジュール

資料３　　外来医療計画策定のための資料集（別添１～別添７）

参考資料１　　外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン

　（２）地域医療構想の推進について

　　以下の配布資料に基づき事務局から説明を行った。委員からの特段の意見は出なかった。

　　資料４　　厚生労働省から再編統合の必要性も含め具体的対応方針の再検証が必要として公表され

　　　　　　　た公的医療機関等について

　　資料５　　２０２５年に向けた具体的対応方針の策定について

　　資料６－１　平成３０年病床機能報告について

　　資料６－２　現状の病床数と必要病床数の推計値の比較

　　資料６－３　病床機能報告Ｈ２９・Ｈ３０比較表（医療機関別）

　　資料６－４　平成３０年度病床機能報告（病院＿病棟票）

　　資料６－５　平成３０年度病床機能報告（有床診療所＿施設票）

　　資料６－６　一般病床・療養病床で算定する入院基本料・特定入院料および届出病床数

＜以下非公開＞――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――